

スタートアップで北陸を盛り上げていくために ～ 初の試み、特別対談を開催 ～

総務省北陸総合通信局（局長 菱田光洋）は、当局初の試みとして、令和6年4月24日（水）、北陸情報通信協議会（会長 金井豊 北陸経済連合会会長）と共催で「スタートアップで北陸を盛り上げていくために」をテーマに特別対談を開催し、110名が参加しました。

対談は、一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会副会長でスタートアップに積極的な投資を行うB Dash Ventures株式会社（東京都港区）代表取締役 渡辺洋行 氏と2003年にアプリ開発会社としてスタート、モバイルを中心としたソフトウェアの企画・開発を手掛け、一昨年東京証券取引所グロース市場に上場した株式会社jig.jp（福井県鯖江市）代表取締役社長 福野泰介氏の2氏によるもので、菱田局長（北陸情報通信協議会顧問）がモデレーターを務めました。



熱い思いを語る渡辺氏(左)と福野氏(右)



特別対談の様様

お問合せ先 情報通信部電気通信事業課
電話 076-233-4421

菱田局長からの「スタートアップの成功者の特徴は？」の投げかけに、渡辺氏は「最後までやりきり、突き抜ける人」「スタートアップには息の長い努力をし続けることが重要」と語り、福野氏は「変な人であり続け！そんな変な人に変な人が集まり、わくわくして仕事ができる」とこれまでの歩みを振り返りました。そして「そんな変な人にも北陸の人は優しく、スタートアップを盛り上げられる」と地元への思いを語りました。

また、菱田局長からは、北陸地域のスタートアップ企業を訪問した事例の紹介があり「北陸地域でも優良事例はある。地域に根付いて欲しい」と期待を述べました。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震にも触れ「被災地の復旧・復興に向けたスタートアップの可能性もある。能登半島地震もチャンスに変え、ともに盛り上げたい」と対談は結ばれました。

会場からは、共感する声があり、地域の機運の盛り上がりを期待させる対談となりました。

総務省北陸総合通信局では、今後も経済界をはじめ行政、大学等関係団体と連携し支援の輪を拡大していくこととしています。